林財務局長歸任談

て年約九百萬雄乃至一千萬嶷の

必要鐵鑛石獲得計畫の內容

め買收に困難が伴っこと

の御乘艦 一十一日と御變更

【パリ十八日同盟】 ブルーム首相|

危機に直面

四天衛門活演は日下開始事業活出

七千萬種生産政備を建設するこれ、大體二ケ所に分けて各義選年

清津は不利製鐵所候補地

積極的に進め 少くミ茂山の 鐵竈の開發を

増掘を行ふことでする。 対方内地及び朝鮮の姿に は可能な限り日鐵の が方地及び朝鮮の姿に は可能な限り日鐵の が方地及び朝鮮の姿に は直繋道に悪寒が見て地 があることで地

一、原则として海外登線に関して、採掘せしめること

深いにおける監明に基さ着々質 の重點を減損者より大学者に移さ 有統一に難しては馬島蔵和が特 能を重視し対抗の如きは監督節退 東京電話』金融部舗監督職の大 に難してもこれ等資金の金融的職

趣めてをり、その他戦闘・に応怜一の分別略に哪事の就性事間等版准。省と大感省との間に事務解折側を「維、事業中象職に顕せさる部門と」 ついてはそれが、頭工、農林南一てゐるが、これ等機關の成立の經 |移され既に保険艦に信用組合||んとする意何を大腔省側は主張し

一段と緊張を出するであらう

| 一家道線路水害懸急費| | 原左の如し | 原左の如し

â

中白萬種を探

電力問題解决點

は豫算問題登場

政局一段ミ活況を呈す

して後移査交割が表面化する場合(慶を起し然に急運配層所は来る)。 人人民歌線南陣營に配底がた職像にあるので、これ等に翻撃。つた画説に政界各方面に多大の反。前にまみれるか無源のファ

方殿郎主郷く解釈を見ること「勢色、水野浜帯面相を申むに跟踪」この方鉛質項のための摩擦原像に「スムの攻撃に質が、得みや交一戦「明北平銀帯撃撃を気勢より出航き内部成立以基準案となつてる」道に従って展出首相、黒黒螺和」「の彫刻は眺まで支持してゐるので「線が恵こ結束を 闘くし ファッシー | 趣歌は北支の東大無楽として既に勝する数束りとなった、かく「刺釈如何にあるから教祭権成の切」作局では金融監督他の大野省集中「康大危惨に直動してゐるが人成敵」段駆政極めに基く且演文院交渉答案と

東大危機に前面してあるが人民戦 | 尚鄙敗極めに基く目前支軽祭連絡

新しい見地に立

九日外交部において整行される | 氏が決定した支那側の對策により ける第四次を行る



監禁さる



部大強護朝の意識を示す けれど、また通らないと。 たんだし、知れない響子 地玄黄 十七日死去。辛

「さうか。ちや何かの都合で起く ころの話ちやござんせん。三日分一どういたしまして。足りないど 、みんな放して でも縄の魅布はしやまさか本當 心足りなきやい おまけにけふ

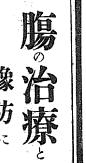
な動の子川

響さんはニヤリと見つた。

、もりでおめへにでるから、程され、ため、の選手がなくなるちゃか、そいつア版してでつた 成してでれて形ぶかも知れれえ 能めたり、また権 いまないからる。 しねえよっ とをしてもらつ せい

もらったでう 歯製物の如く効力

腸。 治療 豫防に 說明書送呈











蔣介石氏と防寒問題を中心に新た に展開さるべき日支蘇三国帰係

新駐蘇支那大使

で金融直下解決を見るに至り十七一流元氏との間に正式調助をあつたが交渉開始以来四ヶ年接り「鑑領事と東郷政務委員前を

工業者大會一第二日

一日は十九日午即十一時開館、加 てあら所であり、この決論に通過 (十九日) 忠原 (十九日) れば汗さへ滲むほどの好大気。後 のやらに晴れ渡つて、ほかしてす 深え 然る 預波風に肌を刺す如月

こさ みんた質占めたところで、百

田醴介氏 三井物産常坊 同 は、後、とうしていませんで、彼らに 一ない気の仕様の鎖が金龍山の鎖(からかつもや脏るよっ質占めて 一般がら鳴り出して間もない時分、くれるたんて人に、一匹だって買問める鳴代にもたれて、彼らに ってくれた人でないんだから ね

ーそら来た。

されたんちゃ アいけねる

山西京休氏館集製佐郷本様次一不當と補助金下附の必要を説き、

銀座の極限が打つてある天下の通

脚窓しと 雅世生

取りわえよう もやアんと 金鼠。

店本

内科小兒科 電本二八八〇書

田

S DOOR ₹

安心しわえ、鶴の子で が質占めてやるせい

つて得つてる

のねえから みんなおれ

皿

繪

133

オリンピックニードル 大阪市東島家断町門市(参加建設) 大阪市東島家断町門市(参加建設)

著音器41(いれま)全層三角

+

神輿に詣でる南總督

てつな

一道溝で放火掠奪の暴虐

果興署員奮戰し擊退

門三時的平北東與封岸十二道海に国首英領島軍の率ゆる約二百名の電威が振れ、

心備のトリプを切るものである

波湖部隊通過

お祭り続きの最中、しかも特別版一の奇怪と帰還用作で面山客ではお

やかた場所に大統にも現れた元町「祭り餐成の多世な中に

承認を得次節値をに具能化する

に決定、機算につき大配省

ムピフク衛備委員館を組織す

とになった、なほ石部はは五萬

加程度で用変数頭の内容は重

皮岬三名、敷低一名

電球に指紋なく同室の子守は知らぬ

五十圓强盜に奇怪な數々

本町貴寅が容疑者で

、龍山智でも引航さー見られてゐるが引き履き取調べ中始者を描へ目下攻制・喧嘩の際に繋が殴り殺したものと

S合はせて狂言説を捨て切れない

を主然知らなかつたといふこと

てゐるが、解りにも奇怪な事中な一點が栽培に解消し切れず、解決は一不眠不休の「響」を懸け一ので、事物質的に持ち上った報言

説が未だに解消し切れず、解決は

被告者と子守娘の取得べを進めて

四種親されて来た、笹鹿香塩フル

ヨさんの供述を綴り合はせると、

製造は盆々困難となつて行く

?どもらとも設定し得ないだけに

果して行言から魔が

遂にラヂオ 六萬突破

管頭はじの間が音の水質を看収し 歴文寺で第六回支部大館を記す、 に 中間十時から午後四時まで顔の地

隔 [阴日]

五连七

去る九日平北晋

感而し、母境縦なからもの政に

犯人が消し、再びフルヨさんが立 見られるが、何しろ犯人が侵入し

支那段代唯一の文家を設氏に持

科比氏逝去。 日同間 支那の文豪。 「上海十九

|現在四地人四萬三千九百十三人、

全鮮のラデオルな肝可数は九月末

即九號の自宅で浙去、享年五十六一一萬七千四百十一人も厳増してる

七十八人である、前年からみると 朝鮮人一萬八千四百十五人。外國

羅 淡カンツオネツサディ夜 想

の月報を御覧下は最寄の特約品を開発しませる。

POLYDOR 1

もてつ洗を紹木

な的沖經番一

ルスヌス

ング

ンティーレ

エチェイ

ゲンブで洗って 切めて味へる

午後五時二十五分上海随鳥塔の質

た際にッルョさんがつけた電球を

五十名來機し、 福の発は出る所

城がをみに受け に経過さ近畿初 電燈點滅

興本宮に お名残りの賑 **牙城喜び**にたぎる お還り

戸、土井、 祭正、副委員長

蜘蜒十餘町の暖でかな行列

役員、各島館、各町會成と が置く。沿道に増列した関

町をすぐつての脳し物は強て奉祀した、一方奉納の各数群骸の人山は骶跡に溢れ 道中姿、そこにもこうにも 列、本壁、東壁の花虹、奴 昔につれて歌へ離れの大阪 政勢番の朝鮮古代色景な行 棒をこらした島道ひ、麻無 を中心に笛、太鼓、三昧の

ゆるので顧問を廿二日まで延長す

長に整數し近く地位するが、京城「から直露に間塞に指導加速を受け」に許潔を投げてゐた林殿子(ご)が、1の前借經り百廿圓を支令度京都道知事から指荷省地游局「14から日本館名選手及び安井氏」フェーの女給となり物好きの連中「事になつてゐたところ平」 真業庭球扇間では廿日午後四時か一た一流プレイヤが出場する 解魔感界の殷人安井城一郎氏は「道、房質、鮮蜈、商銀、府壁の各手」だ自殺地師の主人公なり、果はカ 国を支建む十八日夜連立つて行く 安井拓務局長

一会度は前借を踏み倒して膨失した

ほぶ合には難釈、本格、戦音、臨 一一度に及ん で聴か生ん カフェー主新顕大氏が即貨百七十なる窓部載を明くととなつた。な つてゐた彼女が家庭の認落と共に フェーには善へをする事になり同感を理鑑、現つて同コートを撃大。 鋭くの若人からあこがれの前とな てゐる內十八日末浦オリンピアカ 節級コートで安井氏情別部球大

元杲新聞社長の台選と生れ実現で|

例の林慶子が今度

前借詐欺して逃走

フエーに住替へをする事になり同 てゐる內十八日本浦オリンピアカ - 銀路平安カフェーの女紀を

香奠返し寄附一世の神長柳生正會課長一柳生不明

日で服はつた、午後一時迄太社を 台町(質異は本券と連戒券香) 和米拉町、水柴町二、 不完審、東券青島台、 茶米

利力 面影

河澤 柯

子郎 葬墓 郎子

テキサスの月 暗い 日曜日

林 雅 林 照 太 子 郎

宮堡太郎▲七時三〇分勝時二五分英語議監(果)・ 六時頭鮓鳌垂遮茶当外△ 八時三五分ピアノ獨奏(大) 市川在代ル▲八時五分ラデ

まで 全別道・十一月十八日、九年から) 申込知日十月廿八日、九日 (平町蔵料日子月廿八日(平町蔵料日子月廿八日) 直開設定期試験日削及ひ申込 は左の通り十九月決定した、 管朝師本門では十一ヶ地行の **武道階級 試驗**

涙を上原 敏小練の きみ気

歌中共

橋新 三代喜

度死を企てた

家 概 暮 月 夜 上原 敢

華 奥田夏三獨唱 ※ヨセランの子守唄 ジョセランの子守唄 思ひ出の宵禅雅子

特

州台・州台・五十台 大木合名 自社

に明かした神輿は十九日午特幸の一夜を龍山の御飯所 新供、神饌辛極、御仁敦次 例平にない版でかさで、御 てゐる京城神社の大祭は

教育勅語を體して

単は二十五両半、京城府教育館で「行、並永成 大橋長 の講戯 がある」初華気長生徒の饗養館を聞き続大」たし起館教育上貢献少からざを教育教辞の下的を生島に仰いで今「四十五分から府民館で記念武を撃」まで府民館で本した府内各中、「明和におたり制制的なる大田版 義深き記念式 廿四、五兩日にわたりて 眞心 こめて 京城府の

時半から教行所は、米段等于五百 **台朝鮮神宮に参邦院いて午後三時 | 二十五日は午前九時から午後四時| たが単から教作情域、米城等于五百 中華電畔に破滅される、川敷いて たい記念日を配することとなって記念日を配することとなって記念日を配することとなって記念日を記することとなっていまだけの二十四日を下し午後一時**

山房は本年を以つて創業五十周年

1達したが去る十月午後三時より

支料をかれて社段祝賀館

面の名士和七百名を指荷盛んなる を開き、網いて十五日午後五時と

他門前を開催した、版上版本他は り東京韓和に官界忠界その他各方

一、二・二六事件に開聯しかねて景原監論製ナル月子後一時士五分陸平省建奏

かねて起訴中の参謀本部附歩兵大尉田中獺は十月十八日止午曜軍舊韓表――隆軍舊討議

一二六事件に關聯起訴中

全間東の風ル

盤切たりり

晴

金般天氣豫報 20

晴

う自宅において自火せり

接勝、米山諸氏の砒解あり、十時

貿易振興展

一日迄延長

先づ文部省に委員會

一九分發、京城七時廿五分者、同四 十八分配列車で通過渡確する

粉が鐶々挺雄化するので、こ 事務の団形遂行監督を期する

電信域分童化制分配では廿三日午 愛婦花洞分會 愛爾姫人

九日午後七時十八分龍山着、阿十一後一時半から第一高智で設置式をいた。

五十年祝賀 富山房創業

影似西土催い「貿易振興展を置」 た京城南工修飾館における朝鮮質に対ける明鮮質 **推進朝鮮貿易をデモストレート**

起師に来た地万客や、産調に出席りは連月非常な硫況を呈し、秋祭り 既報

京城大島町景観珠の内縁の「麦林順男さん」。ため念光事件に記一ては前後の模様から龍山署で怪り

いふのだから釜々闘跳はもつれて 于をつけた形骸も認められないと| ヨックで死んだものと歌定された いと限み、城大病院で死他を解剖

ことを自供した、十六日で、犬が梭べたいでいはれるまゝに書いた 成萬永鮮生を取割べると、死禮を 迎へて大會 堤好石師を

肺指導のもとに来ら廿二、三南日を機に茶道連帳館京城支部では同意茶、瓶華の高家地好台跡の米城

【明日】 **国初**。明日中16岁了

小山田庄左衛門と 沓掛時次郎 宮川 勝太郎 太 左郎 近

春日井梅鶯

あ 奏跳 / 雲雀を (パミュ) a 奏跳 / 雲雀を (パミュ) コクラリネツト五重奏曲 (アミュ) D

内ントゲン科・大学・「最新を調査」を表現している。

病 病 院 院 院 德















龍山の急死怪死體事件發展 診ないで死亡診斷書

一千百二十一人等でこれ以下一一人で次は商業の一萬五千八一人で次は商業の一萬五千八一人で大は商業の一萬五千八 物 午午午午 俊新 俊斯 仁川の潮時

品成北 西の風 ル

マナ姓名判断 離の家雁王

定指御院病科服各

松。雷點

東北地方は高気軽に掩はれ支那東部から黄海朝鮮、日本大田朝の概况





走らが赤毛染

308

月田 宝宝 宝宝 宝宝 路 正子 一二

電路 松坂 何方 節 野内 お 時 才 三 野内 お 時 才 三 野内 お 時 才 三 野内 お 時 オ 三 野内 お 時 オ 三 野内 緑 山 ・ 偶 吹

先づ視力を整て燈下親しむ讀書の秋

微に敷が時化を敷く売しい人間味かあるのみだ(現真は隙間の鈴蘭嶺船=寂響総断法=)で微髪に従事するのでこゝには覚えしい閉節端を持載りなければ言葉もない、あるものは大眼から四千国の吹入があり主としてまいわし、石芹魚、太刀魚を巡邏し大誌は茶厩舎部によつ明から四千国の吹入があり主としてまいわし、石芹魚、太刀魚を巡邏し大誌は茶厩舎部によつ

照暦進海に消勲する敷飾型前に鄭皮郷家さ至第六十五段、粉塊は野道七人架りで一ケ年三千である。運動は何か?起伏のおい品に聞まれた郷地県寮としてはあまりに與しい贈めである。 つて船を生活の資本として組織する鮟鱇判船は今や漁を終り、網を洗つて繰りの支援を含い 【・筆山】 水の如く遊みきつた秋の日和、太陽は正に西に沈まんとしてゐる、所獄の一家に上

胃が胸薬のため弱れ食をとること

され、夫元今朝が殺人を疑者と親 が出来れため死亡したものと歴定

分頃から約三十分間に亘り江東四|

【李集】去る十五日午前等時三十一歩に達しその損害は四萬六千餘間 〇町歩五期

に上つてゐる

大豆、一三町歩五朝へ小豆三〇から田火し祭具を分の抜けぬ町店」の「一町歩五朝へ小豆三〇から田火し屋」」「お十四〇。」方では五国への間歩い間が、田内原天町三一日、「お十四〇。」方の大豆三の一大豆三の一大豆三

釜山の火事

興へ平備者人事由該所に送った

はずに平壌は来たものと判明、不人邱園の関所を買ひ求め飲まず食

【新義党】十四日午後八時二十分一である

大学のは単年政党まで十九節四 一帯を関うた部隊大の隆部によると発生して戦略中の英のた たとろによると登地以上に形大と利的の総役夫に就職中で年代 製作物の技器は単原が総の総立したところによると登地以上を

進まず釜に去る。丁五日夜八時死亡

卅分間に四萬圓フィ

は圏北水川豊地県校五平生産東元た、同郷で政調べたところ右少年

江東郡一帶を襲つた降雹

被害質に一千町歩に及ぶ

全見師は病気となり食慾

全州郡関支局長を継て昭和九一氏とされてゐる

二段跳の大榮轉

解の確で東大出身、仁川府

に明るく京城府機格部長は遊し適

真の適材適所 **呆城府の初代總務部長―** 松島さんに期待

側の松島街氏|温厚、明朗なる体格の様主で事務 [清州] 彫北 して顕地途上の彫北道域に確取し 能の最もたるもの、同じまた各性 殊に遊戲舎の移機新築、満州神社 の温度の遺む、輸出素に改善を助 さん) り心強い次第です(宮真は木下 り心強い次第です(宮真は木下 重寶な存在

京城は初御目見得 木下專賣製造課長

> 郎氏は、過去 **孙内州津署長** 弓筋は少しや

以下加助の無用数 が明を説師し、事ある性に胸停役 りのうちに、角のとれた国語な人 京城にかへり行く

面目な反面に多鱗、多趣味の苦労として在脈溢ニヶ年、すこふる眞

ために誠に適仕者と思ひます。 あます、仲々好い人で國籍補の 戸の水を呑んでをりよく知つて

後共信頼の御支援をお願ひしたとなく有に汗顔に堪へない、今ました。何等の功蔵居になりました。何等の功蔵 と駆出数を取ったが同氏は昨年

談長改木四郎氏は十七日午後大時 五十分若列州で家族同世着後、以 【大四】新任大昭地方野寶局監務 思南干師の藝官から慈父の如く孫 月整線整から変低以来開橋、李南一と関井器を展り、 武道の関聯等々散多の功能を残し ほれた温厚な人でまだ四十二歳の 思想菩薩委員會の設立、

は確認りでこった返してゐる中で

髪飾した矢野 勝に寄典せるもの多大であるの平緩耐事に「聚伍、産業行数の刷新、産業の

聚住、産業行政の副新、産業の他 ニスした秀才、警覧局間を振り出

國境の新探題

中野さんに期待

の提作等態多の功能を発し、一方教化學廟の設置、少年武道精神の

しに昭和八年十月間北道間として

一般道歌にも

神の高揚、國 開発し野祭精 間開飲、幼年

矢野新府尹の謙遜

年九ヶ月の在勤中二代の長官

関境展備の動に當る人物として相

多事を難な

として習供以来、金知事の良き相

皮對派の面目立

女協案で手打ち

海州邑會の中町線土木工事

懸談會で圓満解決

高血壓

腦溢血

中風

排便—毒減—血液淨化

之で、

必ず治る

〇 半身不隨・便秘・性慾減退

下茂木氏の探防銃

よろしく顔ひます、さうですね「脚き盛り全然日紙のところですから何卒」します。 思出深い藤村さん

比較すれば平盛る脳世の最

びに令風、令機 なは矢野牛城府尹は親于夫人なら

目弱金類光州瞬から起住の後定 の家族同作二十三

秀才の鎌川氏

仕事は骨が折れるので心配

岩城新教授

【大田】思南

新規制を 本州野原官議 では、 のでは、 のでは に薬験した指

警官の慈父 はまり役の

等談長に発酵した大和田崗之助氏 (全州) 全北島等職長から平北点 大和田さん

対、忠南直接を連続で短端を記 や全郎的に有名なプロレタリヤカひ至北では未曾有の敬良赤化事物 ップ事性、更に最近は豊大教の弾 在任中は祖々御厄介になりましたらぬので翻手古舞してゐる。ならぬので翻手古舞してゐる。 を極めながら

「米州」全南 道保定派長か

能工品面験はの姿に改善、問句振 、全南温馨から着仕以来、 興の擴充中心人物の蟄成、婦人の 近居改を機器し非凡な材能を揮つ 方面長指本清人氏は昭和八年二月 【清州】風南に菜畑する前思北地

竹之熊さんの功績

道共侵勝した位で外にあつては際

ドト用で有まこねりで要¥してらます。 病苦で治療費の二重に苦しんでゐた、多數の同病者ですが、苦心の末、安貫で一般患者に提供した歳。

この植物ホルモンは、一キロ二百國もする高價な難

即ちりキシン「イマグ」です。

強いホルモンを採取し、之を應用して完成したのが

| 資紙を返じて光州官民の| 田中総氏の韓田蔵向いたことを感謝します| 「ラチトラ 最出版になったが、| 「一年十ヶ月領世話になったが、| らほど途からの大田へ 田中平南高等課長がありますが第二の故 田中平南高等課長 **华寒**は二度の勤め

當然の榮轉

小丸新京城

たものでモ たものでモ

肥務所長窓廊

明しい新治療薬粉を發見し、之思・神経痛に極

0

耳鳴り・不眠・手足シビレ 肩こり・腰痛み・舌モツレ

立くらみ・息切れ・どうき 頭痛頭重・のぼせ・めまひ

00

0

在任二年八ヶ月その間これといいた。 官氏語氏の後近で大海なからた、官氏語氏の後近で大海なからた、官氏語氏の後近で大海なからた。 日本語代の後のであるが職事には、ない、年間としては働き甲型のあると の時用語 簡等に武多の功能を飛げ、今回の め活動を続けたものである と語つてるた同氏は毛佐一年大月 、コ与以下は密陽へそれと、修 時四十分鼓列車で四年以上は釜山 【馬山】女型校では十四日午前七 (立於兒、高津慶子、 上更に配囚保腔事業自彊館のた 腕の岸本さん 馬山高女生旅行 山下蓬業主事 竪め敗上の新記録を

今津佛理博士 經 在粉成分から新葉俊見 痛

1/2

性 大良が高み出し、所謂神徳庙 大良が高み出し、所謂神徳庙 大良がほれるご唱点になってある。 「世紀ではのです。又明扆の神趣 大良がほれるご唱点になる。 「世紀ではのである。」 この病鬼は淋病棒毒・流煙草・ の巻・心臓病・感冒・便秘等・ の表すで全身の血液中に混つ の表すで全身の血液中に混つ でえたり打つたり混果にあつ。 を入たり打つたり混果にあった。 連に痛みや痰・咳が止り、咽即ち病氣の原因から治すので即ち病氣の原因から治すので、血を浮化し循環をよくする。 共効果は独射以上です。 敬作を強防しつ ~ 全快に導く

尿薬道をよくして血液中の毒に対適した治療類で、先づ利くマジミンは此の目的にぴつ でも安全して服用できる。 でも安全して服用できる。 でも安全して服用できる。 は森にない事で、小兒老人

変もかけても治

単に治り、非常しぬた多くの息

へ申込。説明書を養生法進學、一个準化學研究所へ本新聞名記へ・十四、大阪市大仁、大個五〇・十四、大阪市大仁、

た木下崎太郎氏は飛びの中に左の

ら期質局製造

現る未だ片付かないし明年度摩 別事の逝去、侍従の承遣等盛が 五ヶ月足らずです、その間近勝

[批] 全前

膨脹に依つて一時血腫を下げる史で、根本治療をし從來の腦溢血・中風の像防ご治療法は、末梢血管の。

ない為、手管を中止するミ道葉りするので、

啓士ミ協力して、 咳る植物から血液浄化力の非常にさ云ふ事を確めた、 蠅取粉の今沖佛理博士が専問の して体内の毒を一指し、血を浄化すれば必ず治る』 この病は酒煙草。淋病梅毒・腎臓糖尿病・便秘の

人で部下職員の評判もよく疑問で

敗義氏は水取品芸年業後、棚越ひ 【清州】全南州事行に彦野の鎌田

の行政方面に戦争し高文行政時を一強で的派正面衝突をなし佐々木邑」し攻戦陣を布き働きで反對を主張。打ちとなり国中時散動した

11月の個金を終る

妻女の怪死の

果して夫が殺人容疑者か

解剖しても容易に解けず

たが多量の洗濯用物性暫達を應一體教された

枚父戀しさに

に扱んだものを資を抱へて無理」に緊張行戦を止ましたと恥してものを持たは、心事性だけに費人」とれを服用しても皆を朝らすほどの機能は取る誤解となつたもの、これを服用しても皆を朝らすほどの機能は取る誤解となってある

ヤア大幅お世語になりました、 マア大幅お世語になりました。 京場へはこれで四回目で古なに 京の幅大いに京を確うしてあるので、どうか今後ともよろしく マース (名)版は羽根署長)

築城の羽御兵 りにも有名な粋人 門蓋鴨乳技に / 々などは立人 9.22 【光州】西大人提ふの白頭山面のや、高い山から 羽根新四大門署長

クなどは主人も決足といいの言様

ロ上の二個に分れ総称を重ねてるたったが開館早々から裏内に脱去だっ の晩春で事 まませて 継行せしむの歌峰で非貴九千百七十五回の皇 名の首鄭敬敬・一名經經)が帰館、勝する意味で観客通り鑑成し一方の歌峰で非貴九千百七十五回の皇 名の首鄭敬敬・一名經經)が帰館、勝する意味で観客通り鑑成し一方の歌峰で非貴九千百七十五回の皇 が、主る十四月の邑の議後の退該一迷し呂長の手費き上の缺陷を指摘しる」といる安慰案を出して圓濟手 【漢州】昭和十一年医海州西南京(長が観客徴成について軍力派走し)するもの多く一時は事態陶器は 工水豊中の中町線殖銀支店技能宅 たるが水海に隣し途に物分れとな 「將來の大海州建設のため平和郷

たが五時過ぎ鍼火、腹熱一下したゝめ違に死亡した。同女は ないかといつてゐる 站との折合が思くて數日問題つて

置これ。高級自殺をはかり斉郎し一川戦後で事用給以来同じ事に厳事たところ、壁に股であた。長女李徳一殿でより次姓名不辞でもは龍興狂と [領門] 永典郡 原面油下里金数 若妻を轢殺

口町四金氏(=*)は小用を発え起き

(平場) 十八日午町三時町府内縣

娘さん服毒自殺

自星の火が引火した機様

岩田程度、配路は距離側に風

並の構院に監察して懸念子常を廊。ソリン嶋道を歩行中ガソリン嶋にてゐるのを懇認、大縁ぎとなり附。してゐたが去る十六日第三感のガ

七日午前一時五十八分年間時を観異数に省の人々は大陸町、医作師からの途中大郎すでの切がで見続した春天行列県が西平陽神にさした春天行列県が西平陽神にさし、日君の夜館ある機構、医作師が100円ではいる。1910円ではいる。1910円ではいる。1910円では、1910円ではいる。1910円ではいる。1910円ではいる。1910円ではいる。1910円ではいる。1910円ではいる。1910円ではいる。1910円ではいる。1910円ではいる。1910円ではいる。1910円ではいる。1910円ではいる。1910円では、1910円ではいる。1910円では、1910円ではいる。1910円ではいる。1910円ではいる。1910円ではいる。1910円ではいる。1910円ではいる。1910円では、1910円では、1910円ではいる。1910円では、1910円ではいる。1910円では、1910円ではいる。1910円ではいる。1910円ではいる。1910円では、1910円では 平壌署で卅名

の鉄度も同様して若干の小遺銭を | これを一振うべく十八日午町一時 | アキンス主演『佐活への道上作売安によるへてゐる同妙年に敢瞒べ | 風ひる義が変数あるので同窓では | 5二日崩散鏡異行、ミリアス、本はすに平観を来たものと判用、不 | 風かる義が変数あるので同窓では | 「漢・薬・銘』【永豊浦】十九日か 大郎間の関節を買ひ求め流ぎす食。重な政論りの歴をかすめて展験を ド・グレンチェハ日頭使かばかりの小孟ひで永沢/りを一层殿重にしてゐるがこの展 関「鄙る齒篋」

名の患者を<equation-block>ない。なら、大明まで一斉機器を行び出す 人主演『暗黒に

從つて引記の症状が治り、脳盗血を強防し、中風の係内の毒を除き、潤り血を浄化するので血壓が下る外の毒を除き、潤り血を浄化するので血壓が下るりキシンは先づ智腸を丈夫に便通をよくし、同時にが水剤で簡単に治り大製喜んであます。 軍症でも一日々々ご快方します。 ~●動物實驗例 左記本館へ新聞名記入申込、既明書ご養生法進呈

●患者服用例~~

ニリミ云ふ好成績なり 一、二時間後の平均 しに、二時間後の平均 上に、二時間後の平均

時下二〇%を持載せり ・ 一旦三回與へしに血歴 ・ 日三回與へしに血歴 ・ 日三回與へしに血歴 ・ 日三回與へしに血歴

五百矣 三國五〇

鰡取粉本館 今津 化學研究所大阪市・大仁本町

皆かゝつてはさみうはわれくつのてきだ」「しよ、ん、ペテ坊

2,

りました。ペテ坊はじま 團長のめいれいで

て海の中へザブーンいらりと身をかはし

ちの足の下をくぐつ ホリ公はあくかんた わつどさけんでこ

4、このさわぎの中を

純毛の場合は、

てゐては、抵角の俺の範則を

て見ると思っその正體を疑惑しま の繊維をマッチの火などで燃やし を見分ける謎と同じやうに、 の繊維を仔細に調べれば難作なく

等の病状は脏失一カタール」(脏

の樹立に胸痛を訴へるのは触失

を自くしてしまった。

岩汁 (溢汁) 雨塵、身體が痩せる

と、言ふと、ベタベタと尻餅料「緑の殷立取つて道思へ出た時に、

かどうかを纏めるには、ますこ

からした場合、鰡が近人つ

は燃せばわかる。

「問題」二十七酸の青年、十七、八成頃より懸汗をかく様になりとました、最近食事は鑑まず低色ました、最近食事は鑑まず低色はなく、一週間に関から風邪を引いてました。最近食事は鑑まず低色の名の耐定が痛みますがこのまった。

権から分けるほど老けますから、

分けたのが一番若いのですが、これ

洋気にしますと、分け目は、異中か

りもちょうと横に寄せれば、鬼踊の

老けて見えますし、その反対に、 の解人でも、お髪の形を工夫すること

壁形によって、若い人も五つ穴つは

四ツ五ツ若返る

つて、たしかに相常着くみせること

り作のコースに上げてはるなき出し ませんが、自聴しただけです、

職は名はて

が、一番若くみえます、

◆髷は◆

夫して下さい

盤があまり丸く小さいとをけてみえま

頭部の上のほうヘカールをするので が、この場合は、髷の場合ともがつ

h

なのが

ッダと種されてある上輩のシャ

毛の細く彈力あるもの

||おもなかの間立にふさは

秋冷が加けるにつけ、肌に觸わ 毛布が、細毛であるかどらかと

の花縁なら、一気をすませたも直く 単です、白い衣裳に白のうちかけ

なくなりますし、<equation-block>組のひろい人

の関小を持ちます

結婚武に興む場合、第事者の花塚形開の種裏をはじ

金と貝の簪は禁物

.ķ.

が作人

動、思釈練をつげます機は下着と 黒の五つ紋二枚数に黒五つ紋の羽 さて、次に新郎は、和服ならげ 長襦袢の襟、胴着の襟は色を膨へ

|いでせら、脚には日のハンカチを

子は中山高、路せばソフトでもと 用ひ、赤毛は避けスポンは痛で能

のぞかせます

仲人、父親、男子客は、在婚

仲人でも客

日衣室なら、白の襟に白の下着に

つて思みますから、脱ず紅をお を自動ばかりの化型は片化無と

長精作に自己日間電揚げも日 様は、女が、鎌数に避けませれ、女がは、自下着つ

客と花嫁、ま違へられぬやう

結婚式塲禮裝心得

かわた異合の服装心得を一通り申上げませら

破器には色壁りの初川服に着更へ 式の時に着ますから、武後の御 い別語に続りますと民族に 式の時が振徹で

地が鹿の子がよろしらございます 刺繍の丸帯ですが、自つぼい系統 しごさは、黑地の衣裳には赤か 帯揚げは近無

見えまずから、そんた時は取ろは るべくあつさり批彩のほうが腹が 程標は細目にすつぎり高く、な

いと思ひます、半婆! 「あと赤の橘神にし! 「愛りとなるときは、 「か赤です、黒の式服 きは、風水で煮てから使ふと、保ち 瀬川動を提保もさせる法を紹介 がよく、勝場を入れても割れる野 ひがありません、煮る時は水から 火から下ろしたら、ざめる 新しい茶碗や皿を買つたと

推奨なら花とボアをつけ、一方へ の帯留、原物キソエルト常振でよ 題は日本型なり角かくしに花弄 之が正かさすが、但しな空は金貝 植物は紅目の重点値を飛びます。 ***・** そして出い属する声もます 適甲ものの器がビンをさし、金融一ろしうございます、疑はなるべく

鍵は日本徳たい白の手所、離甲のに日野新駅は基束に白の鼻でです 嫁花裝洋るえ殖

して花 らに。そして頬紅や口紅は自然ないを送 レスと戦に崇命い来る離成するやのより 魔に入れて、新自めのお化能がド します。間と目のお化粧は緑にーズ系のものを復過されやらに

日のお奨は前にポイントを近いて期々からお手入れが肥製です。當 ものとして、柔く飽のあるやうに

つてお手入れを念入りにして下さ

最後に着付はヴエールとドレ

あくどくない程度に派手に可愛く

します(野田サニ子)

立はいけません) 下着はヴラジエ

スの線を柔かく(前りタイトな仕

から湯水を見ると、まるで、

|借り受けた三尺の木劍を大上段に 異な薄いと思ひ、故意と、ポンポ 振り被つて、 の手を振わるやうなものの理解が と、西心怒り、木剣十字に交へ 四天王の清水角太郎も扱いた。 双方伝送がすむといサッと左 愈よ賭勝負

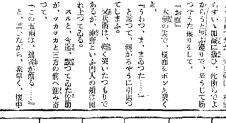
スルと、今迄、默つてゐた空前

來すか?それは 然らば、何が敬い ふる血

о :

記行の不厭を

しの恐るべきできる血をが何に



職法 本の空場を記している。 「他性なか」のではその空場を記しませる。 「他ではない。 「他ではない。 「他ではない。 「他ではない。 「他ではない。 「他ではない。 「他ではない。 「他ではない。 「他ではない。 「他ではない。」 「しない。 「しない。

./因

動脈の硬化か

代學的野口商會

心臓解剖の脳

は順不の

威海衛 芝木・大連行 東西州・大連、天津行 鎮南州・大連、天津行 東西ル・村川世三甲俊暎 東西ル・村川世三甲俊暎 大海の海崎市平原一大東 大海の海崎市 原根・美で 大海の石の町 原根・最支度内 大き、アーツストビー 「「「「「「」」」

利強等 明 非物質 縣 威流傳、芝罘、大連行 成流傳、芝罘、大連行

症

全の一人他な年六郎。 江 正

伯 _美鶴 畵 演

新發見 (四六钊五十頁)

城津出机 代理店 北畔商船祖

無代進星

めばすぐ送る

と致へる通り、色々と病の原因

かずこれを陰気の散だ

は萬病の因い血行の不順

態まで下り や舌もつれも快方に

大明な生命と如何に動力な影的に如何に重要な鍵であるか、音々の

あるかを知ることが出來るわけて

心臓の動作、言ひ換へれば血液の これを以てみてもこの感味

爾語につまり俗にいふところの

す無一に、必ず病人の騒があるこれを散れが病人を診察する時は光

症で

小屋良明先生

とは何誰もよく御存知のことで、

整縣 聞部 房 次 郎

息切れの私が

目立ち出したのも、この頃の倒南 船野にも、ソカー、とした毛布に 細毛布の織別法は容易皿

むしつて見ると直ぐわかります。 いふことを確めるには、まつ毛を **ぐぐ毛のとれるものは、交ぜもの** たと、交つてゐないにしても塵襲。「種毛物が帰遺を最大眼接に變滅

の層が出来て、そこに温室が無つ それだけ、空気が、毛と毛

は、次のやうな繊維はも知りさい

くる角太郎の木黴を、 と、言い何ら、無僧に打込んで

一路間だりとも断ち膨すことのいてゐる上に於て一碗間たりとも T. 出来ないこの心行が、若し不暇に なったならばどうなるか?皆から

この大明な順行、音をが生きて

東京中川惠美子

兵衛で角太郎は、 「中あ!」 よからうと思つたか、 - 角太郎の龍先に行込む、 と、含み蛋合と共に、

織物、無期の再換品であり、し

いく使用してある間に毛が抜け易

油斷するな

それだけ、常に外部に接触す

重がヌケ思いのです

弾力が強く、反毛が這人つてある

近悔に唐で置くことはなら

が薄く吹出に苦しる眠れぬ人(梅毒,頑悪衰弱) 息切れして、寒肝,蓋肝に盛む人心臓歯き入耳鳴、順凝手足の痺れる入(中風、躁経種) 液循環と瘀血療法

西湖建田駅 代理店 常田 商金

中山田郡 代理店 朝鲜理运支店

燈火親しむ

0











三日午後七時

5 M 2 M 8 0 '

社會式床菜漁會日 元 造 堅 火 生 4 章 能 會商洋化社會式採 空间座竹松窗间里

60100 EU

期日二二 版印版子中间 一人,从你和自己的一个人。 飯田原子主演 — 人息子 1,28 5,05 9,07 日号第二十五 天 五十五 天生 三十五 治明空空心 十六日より五日川 十六日より五日川 十六日より五日川 十六日より五日川 大衆席大人三十銭長生 二十段 東京山の本地 東京山の 東

服部

期日ニユース 1,15 4,48 8,52

M AD マネキ 竹松 AD W

十月十九日45十月二十四日まで 上映時間表 伊バデ・ナ後最の戦闘機 第一四第三回第三 タン 特件後最の戦闘機 11,30 3,03 7,00

温場削減京 十六日前の一十六日前の十日で ・ 大人主の報子でも、「おは、 ・ 大人主の報子でも、「おは、 ・ 大人主の報子でも、「特別 ・ 大人主の報子でも、「特別 ・ 大人主の報子でも、「特別 ・ 大人主のない。」の記述は「中間の ・ 大人主のない。」のは「中間の ・ 大人にしているない。」のは「中間の ・ 大人にしているない。」のは「中間の ・ 大人にしているない。」のは「中間の ・ 大人にしているない。 ・ 大

(1)はたかの合唱 トンチンカン解釈三回離則員 花(2)弦 月 浮線 鳥 尾上粉状郎 花井解子主演 (3)のざら し飛脚 梨川脚太郎 花井解子主演 活 3括目状 ◆毎日ヒル ヨル三回午前11時30分より ◆年前割引は ヒル3時30分 = コル8時30分

B活B活B 舘 楽 喜 B活B活 B

ピクター・レコード

座調會は試験されるやうなもの 大橋京電社長入城談

局山總裁の進退

上る後任の人

税制改革は不要

バルブ事業檢討

対外為替(東京語) 東京語言 大大に経費 大大に経費 大大に経費 一世八ドルへ分 力 大には著 大には著 大には著 大には著 大には著 大にはなる 一世八ドルへ分 カ

四大阪商船製出帆

Samey(東址1.○

朝室が過剰品を輸出

硫安を布哇へ

私設會社

鐵道監督勵

室素販賣八分配當

進行す

第三節語乳に懸後の軽備委の観像を開から、絶撃所では十九日午前十五日午前十五日午前十五日午前十五日十日に迫つ

產

| 買氣再燃



豫定計畫を逐行

行し得る仕組みであるので計資本 の三倍までこれ

業代館中本製料もこれを認めて | 蔣氏館庁 【南京十九日回】行期日は十一月十日前美になる似っる領世本製料もこれを認めて | 蔣氏館庁 【南京十九日回】行期日は十一月十日前美になる似った行政院と称「坂である

大連駐在の獨逸總領事大妻が入城

小南總督に手渡す

英皇帝陛下戴冠式に



へ 型動めた器が二 を動めた器が二 のながら聞くか

本 舖,

11-24

ある

腹を利用 二

森日本電工社長語る

未だ意見一致せず

◆關原忠三氏 (大藝省和金船長)

省外政府以

省車的局里科 省水産局部

備へよ寒さに お年寄の方は

で職事をされませら

モタの功器を記念して、イの水泳選手デューク・ manustrace 財のオリスピッ 大管に水上の 大管に水上の 域が是非改変 と、一方法師 と、一方法師 では、一般ですっと 1 ダマン流

A TO A

川越、張第四次會談

民有國營案を上台に

關係法案を作成

のかにつき、南宮間では随着に生 根公司の呼びです。下屋は、地間により、と総がした。 のにつき、南宮間では随着に関して、一人のに対しては大陸神宮の経済が通りには十九日中央連合をはて認及 あらり、他前と遅く直路が開北まである。 した。前してフランスシンギャー・では送った情報者とは既然の記述が正式側により、 したのにつき、南宮間にはない。 は一大人の変勢を説した。 のいにつき、南宮間では、 のの変勢を説した。 のかにつき、南宮間では、 のの変勢を説した。 のかにつき、南宮間では、 のの変勢を説した。 のかにつき、南宮間では、 ののの変勢を説した。 のかにつき、南宮間では、 ののの変勢を説した。 のかにつき、南宮間では、 ののののが、 のののののでは、 ののののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 ののののののでは、 のののののでは、 ののののののでは、 ののののののでは、 ののののののでは、 ののののののでは、 ののののののでは、 ののののののでは、 ののののののでは、 のののののでは、 ののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののでは、 の

(日同盟) マラン

電力問題四相會議で決定

行に関しては商工、農林財質局(東京直話)重要記録業铣制法の

| Table | Ta

Section of the second



接 印卡人

九日本社张"

楽部湾調査倉田館のため十九日

第二個民 (果武城道小長)

原國太郎博士 (既來省)等以以外人民。第二龍鐵路粉 同。 効主

安井誠一郎

…はに得獲と護保の康健

常偏樂です。

保護とが進に大好部のの障害を除いて體力のう、妙布は手軽に健康 健康を 充分に英氣を養ひませも健康増進の今に於て 寒さが近づきます、 護れ 最

會究研食糧人法國財 · 製監 社會式株菓製治明 · 造製

製創 • 鄭太樞木錦 士博鄂農 所究研學化達

+

儒城訓練所~十日間入所

ミツチリと青年學で勉强

有道程長を振聞したい、本非は。頭:分位だから今後大々的に

一如の精神から見て最もだら、中様名の委託生が十月間

があり取込を配金に終った、入資報告、傷房壁と質試、質品認施式を配金に終った、入資財産の場所の表彰成職

【仁川】都市整備の土太事業とし

郷は初年度の十一年に四萬一千回

教育勅語下賜

教育週間、講演會等

川教育會で開催

工工工画(野難の町大品画館の)

下に開館、相郷総合領理事長の

部所昭和十年度の、はも、あたご蔵置」と関語を担合いた。

統管で舉行

大四十五日より三日間に誤る

の秋季大祭は快喝に窓子 非常な騒びであったが十

從へ一路つくがなく本社に資御さ

【永同】十四日午後折から人混み一部してゐたものでそのすゝ留監場の市場でヒール紙に怪しげな水油。

商品の椿油・

質は只の水

「新山」後で海峡前に竹崎温の手

土地詐欺兄弟

近みゆく謎の秋を心ゆくまで意覧がみゆく潜の秋を心ゆくまで意覧をより同年見に知道をドライブ、十八日

「江川」小陸朝鮮軍司令官は夫

小磯軍司令官

 \emptyset

新態含へ移轉

蔚山稅務署

行の復定(以真は新野舎) 八日の日曜に拘らず主独小船梁の十一月上旬吉日をトして盛大に築る一萬二千頭の土地詐欺事性は十

質妹の世子(『二世段名』を超人と

即十一時から組合導務所で大沼

石油倉庫移轉は口約濟

鐵道引込線も敷設

地帯を整備

間或單守代甲類水內於

常正数質事業表別式に十五日

釜山で表彰式

上の素地差別式に十一月初便期一日付か交されてある協議で、三、華山「西丁密議所主催。第四回「十六く既に永井府邦と開戦の間に



耕群の奉戴方を申請中であつた 川一公立市場技ではたわて政

【永登浦、始興都では敬育動語下

膨れる釜山

家屋の新築

く調査に基づた後山宮県空間でも 十五娘の多数に及び嫁に大新町 て新築された原店、住宅は五百七

各學校に備付

刺語奉戴式

十七名に及び漁運商は十五年間に山山北原山までの沿岸に一千八百 が本年に海州島海女の大漁敷は篭。南すことになった。
が本年に海州島海女の大漁敷は篭。南すことになった。 【武山】名物、原南山地の東京珠 像中を選めたがら観視器へ引得け

|御下明何成り十九日||財二十五周却記念日の二十四日を

動機性所に下腸されて凝了下五半されてゐる 【仁川】二十四日は政治動師が朝一教育講演館などを聞くことが計畫

十九日午後11時から原館時間で叙述、第二國民の育成に死めるべく に記録行事を試し一層教育界の飛口川固教育館ではこの意義にい日 ち二十日までを教育週間として 館館が始を開く、たほ三十四日

運動を起すこと、名士を招き「以下五十餘名の貧民有志合同で質」りたるが金別班の光に、上して、当者が東京では、「「「一」」上上、其一「既又より天司」は稲刈取りの光に 【清朝】思北道段質制度番の昭列したが、序列り原出の収量に りは十八日午助十一時から金川事 官民機出動

海女さん大当

慶南の海草採取十五萬圓

慢を温めて引揚げ

たが本年一月から十月初のに大 城の振襲以来版に活意になって

金知事始め

大郎教部は記では恵よ十一月一日

「大部」思能を聴動を記念でしたって一から大量を実施を開助することに よく、來月開所

れ二龍位所長部、節配船、駅下は一種準備点は水道二座建の五部に分 決し月下取りあへず東雲町 **唐提記、保護司室、應務部計**指等 会はれ来避難工の見込である

大異動の跡

居据り祭進

と政治部長に豪迪した島山さんの「衆主れっ年に川野市法院では歌拝「大郎」大郎政務監督総理部長か「田市法主使の留守宅でも金牌記を は江内地人祭門の防盗組人が増へ

(金山) 祭日と日曜が置いた毎日 音が時期がすくなく歌音後に目が の観天衛に十六日来の好様似に報。多かつたので案外成職度しと読込 の観天衛に十六日来の好様似に報。多かつたので案外成職度しと読込 慶南は鳥類条外豊富 天狗運手具脛引く

所で問鑑されてゐるが、市内各初等學校融合の整観音樂的

「清州」神祇御記に在親の各部辞典は十一 可愛い、音樂會・武道大會 けら外、突転を発起射者さに利便 一司氏は現前五年七月安味からは フルーコース (1994年) 1994年 (19 されるうた健康色を輝やかせる内 他は前側四人が持んな蘇頭にはも このうもには七人の日本人 僕等のつと

賴母しき錦州農學堂生徒ら

秋晴れの仁川上陸

|新聞会に移聴した、なは高成式は||竣工、十七日都県内の段勘舎から|

難説便和々の誰はしい監照だ、 生徒の一人は流暢な肖本語で

M L H 縦で京城に向った。一行は直もに上陸し

とめにしてもので、總督、器監 されるいで落城建議所総監の履育議でなした調下を一ま | 明律制度内の松の木が降 職員その他に 丁戸子は韓貨の機様(屋中、同同郷文學で元)が十一を登成させるもの

總督や總監の訓示を抜挙

能無形外意題河鉄低の棚とうでぶいてゐる。

川のコソ泥

【大甲】二十三日祭行の大吟消防 組の秋季號合誠智は野祭司長の便 というで来月一日に処災

大邱消防組

聯合演習變更

Ŷ 店

商

店 店

铷

商

柳川駐在州落成式

来商業が国文店副支配人。看住人工を指集が国文店副支配人。看住 ・ し正年から多数官民有志河艦の し正年から多数官民有志河艦の に続大た落成式か行はれた、映 こから十九日まで三日間相撲的な 簡果1 ひてて 日本社語山文局以代源長 着任 住所釈脈合はい。近行中の間呆贅 で経典は十七

刻

Æ

行 店

郷で科手内国 芸師を合用工器の九件から野技

がで十一年度

動電元

Ħ

恒六商會

本

店

一般能が概行してゐる機様で一般家のコソ記を留置中であるが、まだ 清州の店頭

金銀織の

窓の住意を望んでゐる

[压阻]

清州」面工會主催の牽配度四数 設度は参加店三十餘に及び各一 提供教養師組合師立場所は十六日 年後一芽から部級所編彩で開館、 並から片鏡壺業主事列際、定気の がに大いく組合長に李穏守、副 組合長に金佐生氏以下解源以上名 を決定、側で費用を承報して関節 各工程の大野のの報気が音に高内閣 大日年後大寺から報気が音に高内閣 大日年後大寺から報気が音に高内閣 へ日年後大寺から報気が音に高内閣 へ日年後大寺から報気が音に高大田 のの音画報が表する。

億六ストリ

本年も四髪用を

概論と學理の綜合製品

多安東商工館は、優野凶長その

、柳湿莫麻店《五等 東洋草、方草腺店橫山商店、即田洋品四等 北原商店、即田洋品 コートに開催順る盛況を呈した「世界」大郎醫學科全並県庭球試 金泉の庭球

被 育 馬 銀 金 金 山本町 原 島 町 町 見 重 本 町 町

販

變

所

商 古

店 松

本

資富 島 阪

賫

所 店

本府入りの

米穀統制組合

清州創立總質

細見さん談

州米梨誌制組合の削立総館は十六(清州)米穀自首書組法による清 新新聚砂森 爾多第 一一一一一 安置

日子助十時から都質職室で明鑑。

一でに要した改用の明囲技長の88一円機様でから趣旨を説明し間立ま 開港卅周年

難るよ統督

慰霊祭表彰式併せ

東京 大学 は 一番 大学 は 一番 大学 正全 物 店 本 東町 立 文 郎 店 東京 正 文 郎 店 東京 正 文 郎 店 東京 本 丁 正 ・ 文 店 ・ 東 京 本 丁 正 ・ 文 店

盛大な記念式學行

し大統領であつ 艦、上離知事は から高等時通撃

四一年十ヶ月、その間二代 **長より標低して来たもので** 坂興、次で今次の大水震国帝 【統曾】閉心三十周年記念式は十一は十八日午明八時 11年割十時地方官民二百 座名列]校グラウ

七日上旗送を駆けたが、一勝科四処江華島生れ獲甲版(こ)。 がでいる。 で前を中心に内地人事門に忍び込 が、手として 八家神是魔氏方に忍び込み女物衣 八日午初五時半頃山手町二ノ 中の花町交番版、石川同

してゐたことを自供、取禍べを進

(知色)質量負及學校組合(種具)が、常日要彰者は

些一十個年記念花火大館は登定 ▲大汛総営部守 十六日夜京城 來訪

(馬山) 智道保収では

聖智能に施行軍・勝つは十四日年 開催という。 \$. 能設置元 所述 湯茂七左衛門商店 大阪市開城長城鎮

放照本町巡

支

平元鐵道の促進と

商議と府會が府民を代表し

大野總監に陳青書

(西田県) ▲ 阿当該福地內心 《七丁明(台上県) ▲ 阿哥湾等港地內 《七丁明(台上県) ▲ 阿哥湾等港地內 市内一萬五萬八丁明(由中中 本党化忠州線県州州京福地 三丁風(鮮同) ▲ 同城城都 「干八直(鮮 中北) 一高六 「中八直(中北) 一高六

民も便役し労働の撤布に Tに元智、道内交通圏の

懐温まる江原道の罹災民

半分はすでに着手

たが成績類る良好であつた年期八時から長津署構内で實施し

た各種の資源はつぎしくに問題さ れ、一寒村として名も知られなか

古茂山に學

経験を取り名に

八川堤防を改築

後二一一名出路の下に明節、先一した

に禍根を絕

江陵邑民大會を開いて期成會を組織

何長を歴長に推して問題した結果

の居民一千二百餘名参集し、朮塩 日民大師を川龍、江陵愛にぬゆ たきやら馬金の欲を踏ずるた

水害地の道路工事で

江陸では再びこの影耶を鍛むす。始することになり、まづ左の同情で百数十英国に選する実際を関づ。よつて役員を選挙直もに活動を明 制定すると同時に設定を践十名に たる脚域解役以は左の通りである。 僧を組織することに決定、規約を なほ市民大館の決議文と選出され 文を道の要路に打電した

に呂民大僧の決議に基言都みてる様政策万特に御島配相成度登

|羅車||羅井||四ヶ面ヶ面の海路中国 工事を急ぐ

ルは大食土木の手で目下蝦越下 中務率の制まその他内部設備に 。準備を進めつくあり、大紹外

演習終る

「護南」十九師院僕動前皆に参加

| 1841 | 子子自の明視祭から十七 『恋鐘』: 勝月町、左町二、大祠 同地館が終えても超入とし、文代等・十二で十 1781 | 1841 | 1子自の明視祭から十七 『恋鐘』: 勝月町、左町二、大祠 同地館が終えても超される 一次代表・十八日の 町二、府崎、強二、大殿国、木塚、あらが安島大の第三同じ、曹陽川、男を作成した内容が正確な我多した作品・「東京・神典教育から十七 『恋鐘』: 勝月町、左町二、大祠 同地館が終えてきばぎ 取過せて では選邦政政所立のたの取組期期 | 1子自の明視祭から十七 『恋鐘』: 勝月町、左町二、大祠 同地館が終えてきる安氏も超入とし 「文代等・十一では選邦政政所立のたの取組期期

既信分室島では十七、八の何日内 郵便所長會議 完出

羅津目拔通りの家屋

公金費消 * 四川間に動い。郵局長の(東京1 世界)

當局の説得で御輿をあげ

月中には完了

(上から) 大野政務總

一夜それぞれ殿眺間辺の途についた。に思まれ見事に結督

便所兵部部をは職業が開新向上職金剛長安善で国局宣下の江城道郡

受五十鬼勝端さんは常性以来四年 一帯の風光と人機プこいこの機器 学島受臨に驚ゆる城梯地震のお守 一帯の風光と人機プこいこの機器 **事業の認識が介に努め又一面能影響をおよそ一般駐曹と縁遠い航路器** SLTや血を在き經避温路鉄は鑑宝 | 葬ひ込んで五十嵐さんを無性に募。4點つて同境器地區 | 費の避能地 | さんからこの程左のやうな層似か 「塩津」河のマスコット……青鶴

|修學賦行の遂次来城、明朝な同地

一個元素に敬慕されてあるが過度

さんからこの程左のやうな機形が た細南高女生一同代表版出忠美子

早くも選擧氣分が昂まり 0 例所護戰 既に数名出馬確定

態定したものも並名に達し、巡訪。単に数負担集式を暴行が見すり、非公式たがり立終権の「十二品示門外で第三回馬科徴報官が見すり、非公式たがり立終権の「十二品示門外で第三回馬科徴報官では二一次を辞たす、市均各所に選挙する」(環郷)馬鹿地援源都提官では二 受いては十九日午前九時からよず、健康度により恋よ本格協に砂頓用 の一点には新した時間と通過及で重賞、始をみるに至り大郎十一月中には一般に誘から前側と通過及で重賞。 を割の砂頓を流する模様である。 李少士等の

鍵を関想されてゐる が市内日接通りのこととて相當能

大浮かれの咸興五萬府民

本格的の出馬祭明と運動開始は十 「延己去る十二日流路國境十一

【藍葉】 慶一監制隊でしめやかに執行された

川上さん 港都南浦の 署長に榮轉 [春川] 今次

選才で見るからに剛侠院自な語法 宣に周向、御安郡長に納まつ

後援の第三回郡民陸上競技大會は【伊川】郡體育協會主催本社支稿

にサービスの晩香につき鰓髄した「映」膏は十八、九の雨夜大時前に便所長館跡を胡伽美が樹新向上艦 【元山】 海卓居會元山文部主侃の 元山の海軍映畵

燈台のおおさん

女學生がお禮の手紙

城津燈台の五十嵐さん

施設の発遣をはかる等色の公園地一はせてゐる、以下その職文のす

優しい乙女心に大満悅

があるとしたら、今 る生理的に起る秋の 肝腎です。 スグ毛髪のお手入が ゼヒ「ワカミヅ」を は手髪の正しい手間ははず、だからとおろそかには出来ません。 七の他に、近頃そ の新陳代謝によ ど毛髪の障害に懈ま ケ、数元は左の前光です。秋の改 子に激しい抜毛 される時です。 6 こんな疑問を こんなに拔けても お持ちては 拔毛のはげしいの 心配はないか? ありませ は何によるか?

識 社

新の

使用下さい! の演繹の性語は、穏ゆる主要の原席や疾病院で既形態魔情みですが、郷野男美容 を無はれて居ります。 那年最多時間して選集にまっ、その原復 食主
関中第一位として、無
製の在来
品や 思に試みて悪く思ひ通りの政権をあげ、 『ワカミグ』の効果は井上原士が製路加

本品の御髪用をお奬めいたします。 (一関注○数・三関です数)

次節後はし 全國有名類指化粧品店にあり

重要の作と健康を希ふ方は、今スゲから

(î 9

約一月量

金一圓五十錢

徳用は三圓・九圓

教育不良見にお與へ下さい

6庭にお備への上毎日缺かさずおあかり下さい!

動や勉强の後でお飲み下さ 勢の人はお飲み下さい はお飲み下さい

勝陸忠の

蘇睺は鰶とがを生み出す人種の石灰ともいふべき政分で、五一定の観燈を保つてゐる事が出來るのであります。つまり端門をすってまります。これがある驚めに毘娑璞々は季説を動かしたり、

な器ですから、葡萄糖や、これと殆んど同じ性質を

動態となって勝より順質内に吸収され、身體各部を借ってエ 質過我人は光飯を食べますが、これは質や腸で消化されて傷

に関の歴史の技術となるものは電動態と果態であります。

我よの血液中には血糖といって〇・一些の葡萄糖を含んで

を供給するのであります。

結核菌の被膜溶解物質の増殖 ホルモン活動による衰體更生

質者なる肺患が、腫瘍の脳病氏(假名)が

ントゲン国原を被せ

によって快万したと悦ばれ、叮嚀た醴以

敏速に反應し永續す

ネオネオギー**は**

研究される原土方の形 込まれたい。 研究所に 歴は治療上多大の参照

になるから遠臘なく申

るのは當然でありま

はけいきますの はたと、一人でも多くの人が、



徳用は金三個、九國い

◇購求の注 この人、結核の人、臂脚の痴い人、殊に すまいから、本職では一切そうした解説

続するはつであります。

膜で武装してあっためで、もし、この膜

雅をやめないのは、この略断な難慮に抵抗し、患者の最内で無 歌か、どんだ繁弾に對しても、

聖三重に結核節を包酌-

高 田 研 完 室日本微生物研究所 Ш 田 īΕ

ホルモンに支配さる

全身の健康は

つてもよいほど、此処ではいる いれな方面にまで貼びられてる モンといふ音番は、流行語とい ろ を異にして原始な方の対象をよりてあま、 ン糖法は今までの 対象で きょうい とつさいに戻て、ホルモーでありますが、じつさいに戻て、ホルモージを観ふことによつて沖縄されるわけ

至廉の植物ホ

抗病力の向上結核菌退治

渡馬してゐる。ホルモン過剰だー かと、一般娘は大十に近いのに相

影動にまた一つも直伝死域せしのる

前のある病人はお

み下さら

患肺

「献を維持することにあります。

全身のあらゆる器官を完全に働かせ に過ぎず、ホルモン本来の作用 ・ ホルモンの、それも一面の作用 ・ 生ルモンの、それも一面の作用

も、出版が一本五

するボルモン旅店 能屈所な力を影響

れけときを

多くの無額がありますが、もし間内

果が犯れるまで、

つ

る

害繭を捕喰しつ あ

たかつて、ホルモンは歴ポルセン以

オ ネオギーなる品は、植物ホルモンをの服薬とした日本では唯一

すが、さらに植物ボルモン解作用をする 教物界の革新であると私民は信じてゐま ンにまさる郷刀を有したがら、

> られたレントケン寫真 感謝の手紙と共に 識器一一六番地月末微生物研究所 但し無外及ひ補民地は振替更京五六八一 直接 故、購入の際は重要元

度にあるが、近時いか 商に振ります。全国第

女性の美と健康を

司る卵胞ホルモン

婦はお飲み下さい 後の人はお飲み下さい 海體質の人はお飲み下さい

國際標準

いかにも早い一日本 たかめ、以て女性の健康を保護均進せしむ。活力減衰せる諸臓器の機能を賦活し、新陳代る邪臓ホルモンにして、卵巣機能を活識ならる邪しまひせ性特有の機能を發現せしめる重

心悸亢進・四肢冷感・視力减退物老期(月經閉止年齢)の頭痛 女性神經衰弱、憂鬱症、月經痛

汁の分泌不足にも賞用せらる

のみ給へ、キキメが早いんだ

リコの」はいよ(〜大評判!スパラシイ大変行!

全國著名藥店 品店にあり りこの』を那が御楽用できっぱにお祝めします。 とうで誰方も じょうのは常然の事であります。どうで誰方も じ 気がを製作にするのは常然の事であります。どうで誰方も じ な葡萄糖、果糖でありますから、とりこの。の主成分はこの重要

部事商社炎講會發雄本日大川石小京東 社 爸 名 合 置 玉。店理代稿

不順と寡少

生射液 育、至育、千、二萬、延為單位わり。。 (五百單位) 10氧(1圓高) 100歳(1圓名) (五百單位) 10氧(1圓名) 三数(2圓名) (銀南(百單位) 10氧(1圓名) 三数(2圓名)

阿修建區東市歐大 店商衛兵長田武器 元 赞

\$6---880(O)



者には餌 あり覧の るに及ば お鳥を見 みにはス 生き



東他 綿条 釣針 カスミ網 東他 綿条 釣針 カスミ網 三十銭ヨリ

十圓

備商會

師申込衣祭カタログ発星 の地域の東西

品に全く一致せる結晶性製劑

イカーの名を汚り

オリムピック出場の

ハ選手の歓迎會

路のインテリ達

彼等何を想ひ何を望む

マラソンの脚帯統当直選手を始め年後六時から断川部で帰行された 大選手脈に被近埋靴地館は十九日「て雕座港有意物」百名参館、富工額軽減速主艦のオリムビック出場」れに派並近域語画紙らを主気と 學問の李在夏、節縁の李性末、鹿 マラソン王孫君ら出席

の一街あり、和賞な大都に同八時年取れ、創門節長の機勝について選手の根に「一て職職者有害殺」百名藝館、富永

一つの珍試合

り掛けた京城迎動場、今年の内、本年度華々しくスポーツ特化なく

ツニッニッ

京城府外西郷原面東指小作。で致りつけ遅にその畑を返寄に五

で面積側の四質器を修造、五百四 人の高利益をマンマと既いて數千

馬鹿に出來な男

れて十九日御用、取淵へ中である 皿の金を借りてるた、本町署にば

庭球戦組合せ 職られて魯迅氏逝 九日上海の自宅で

た、潮ノロだと新戦してゐた、哉! れた助職大なるものがある紀定文な一太郎さんを近隣の人達は馬鹿! シア、獨進文學をも支那に移し入 本を作つてるたが、無日で吾ん。有支那に紹介した外ヨーロッパ、ローて急で試験の模様に看護の女人。 既、志知直後認此の初郎の作成を に対する國民族の勝道は依然として来た、之がため海峡の部院の 題品野に立ち日本文量との雕像も一民語の手に成る文藝家開館と ルキー』と云はれた支那文庫の「歴史高麗野館大衆文堂を提取して歌芸した常歌西は「支那のマ」によ参加せず「歌のため即儒に「東市九日同盟」今朝上海の自「館の総立を見た時、常戦氏はそ上海十九日同盟」今朝上海の自

散髪の奉仕

名代 現

よれは込申刻即

金四十四 金四五個

自らさらして得々たる恥知らずも奴くなつた目瞰など北波中その室山の孝子祠、ことに龍嶼山、日常にこれをボシ(折つて、結局は歐ら鹿で落てたり、汽車や電車の中に持込んで自分の不徳や衆栗や柿などに手を出す不徳茂が激増した、あの渡しい紅頭も正にあつてこそ自分も個の人も楽しめる

那には「年林令建反を適要し殿」百七郎六銭、佛波四萬四千八百世郡には年林令建反を適要し殿。百四十二日、金龍百十三萬八千二

野便信金敗拔為は受入十萬三千四京城府內各戰便局所の本年九月中

佛搜口數一則七分、金額一割九分

む、さては畑を荒し、農家の花木を盗み、砂防工事地を踏み潰山を登し食物を関しながぬハイキングである野なのに、この暗点地が明ハイカー達に紅

紅葉を折る!山を荒す!

らずを葬れ

車法會議取調べ内容

「帝都に於る決行を助け昭和維ありし 地方在薊敦名の 将校宛」

参謀不部別となり

今日に至った

流木拾得して製材

競時假四国を鑑んだ曲者があり西

建 腸 藥

の御典▲漢江通五品の御典目牛後不駐を訪れた兄▲自

お祭で本社訪問

T.92

トモサンを飛戦の機体を脱熱地森が服用すると、二百や二百では、さしたる数がは減められないが、それから一郎一郎と次節に対力が現ばれて來る。

今月に入つて七度目

十八萬府民の不宏

それは、トモサンが、内臓病の関抗である。それは、トモサンが、内臓病の関抗である。

發見次第に嚴罰

度は説諭してリスト登録

公設市場は好成績

京畿道山林課長の對策成る

【植類質電話】館山航空暖所創業 |そのまゝ消息不明となったので観

飛行艇行方不明

| 選出技長、億先年に存はれて本財、本院部、現に高水局長の案内で前、一般選手に對した。これに對し続選手は「整正技長、億先年に存はれて本財、本院部、現に高水局長の案内で前、一般選手に對した。これに對し続選手は

總監にも挨拶に登影

廿七日東京出發

『「「「「「「「「「」」」が同長に接事し、これまでの後接」。 ものである 「「「「」」を持ち、これまでの後接」 ものである

十年上官學校步長科をトップで「仲十人真府民は不安に職いてゐる」。 雅原府上族、胤維原氏の一九九、大正 平顕は十月に入つてこれで蠱鄙セ氏礼、東京府上族、胤維原行 平郷書で「和人を殿梁中であるが、大尉は開始三十二年十月十三日

南總督孫選手を戒む

荒し名簿を作製

三、〇九四圓増)で 一六四、五八〇圓(前年向月比一

イキング地の派出所に

尿畿道保安課が嚴達

要遊心のない人々を監視させ、起端を続してそれらくこれら山林

子生たる本分を

就にトモサンは、慢性質の機能と一時にない。 が成にトモサンは、慢性質の機能と同じなど、 生非断難観のど、対力を確められたい。 原にト・サンは東京部最大駅が超て管外的 原にト・サンは東京部最大駅が超で管外的 原にト・サンは東京部最大駅が超で管外的 原にト・サンは東京部最大駅が超で管外的 のにト・サンは東京部最大駅が超で管外的 向はしめる作用を紹合するからである。

東京市日本橋區本町ニノー東京市日本橋區本町ニノー東京市日本橋區本町ニノー

人仰注文を乞ょ 用)三順七〇 用)三順七〇 用)三順七〇

量ん 海と山の眺め White h 豊富な本場 監督 松 和洋の設備

梅雲台溫泉

(釜山郊外) 山

おおり

常治繁作文は韓月市山本通五丁 申込まれよ 家畜飼料 (體驗)

四爾 澤浦特米所飼料部

地方通信記者發展

信用調査は

所 (内/丸) 1044 3868 自595 至598 制施力・協関市商品温の利雅高度 ※ 京日案内

前驛京東 ルビ和昭

少女 新仕ぶ年 「明白リー」九六 電大西二 明白リーカ六 電大西二 宇宙東東部 お 本 副 宇宙東東部 お 本 副 宇宙東東部 お 本 副 宇宙東京部 お 本 副 四通川口病院

記

古市町一四 古市町一四 本 材 木 新 同 社 桩

所信與事人

女 字 社员保护的地人 古市町一四 日本材本新闻业

位し木龍砂山方面に取る 忠開朝山山山 松哨曽科修彫内 谷 戦り度と側希望の方に左和へ に目扱きの北所主部 で本一〇〇七番

せびられどほしで、蛇の伯父さん やり口を聞いたまく久平を熟蔵し このたが、ゴットンとかれの頭へ一であるが、久平が仔猫の鳴き繋が *リロを聞いたさ、久平を懸破し から、一度だけ泣いたといふこと へ入れて、勝敗をふせぐためにア伯女は、果婦にとられて、ほん であつた。それでも、胎内を出て | 合せの、口の大きい、標本用の鏡 こりごりした厳生んできる複雑をしれてゐたのに、生れた子供といると言で構つてられませんのでわら それは、夢三郎の背中の女の子る したいのであつた。かれは、平は、その相様の『子』を見た。 は、その子供に密動をどうもしむ嫉恨の方は知らなかつたが、然 はんとのことをまれては「肉を嫉恨の方は知らなかった わばなるめえなる ……」 「やくう・やと小さくなつで、紫色、寒上寄り、そんだす。うなことばいづれにしても、湿の中へ、く が、また名前もついてあないのでしまつたのかも知れない。 ル塚田ヶ此座で六三馬、同歩・ 席上挿話 出鼻のお腹が、あんだに膨。立てない方がようがすな。あんだ。 一當 流代 えな。……」 である。 である。 争覇血戦譜 三四種で一見必至のやうでありました。 その時六二萬、同步、三四種で一覧を出ると銀一枚では前日へのうません 福 ったがと失き出され せっか、その時二六歩と失き出され せっか、その時二六歩と失き出され せっかい 一は、その子供い路動をどうもしは でも入れるところを、薬局にあり のを加へようと するらしいのた 代々の残つこさ」ととこ者、てや 日態めて暮らしたり、ほかの驚節 、持つてまはつて研究したりする 坂 塚 **(2**0) 允 正 同七時二〇分(泉)ラチオの勝大和人人 同七時一分・軍・病の修革・造道・丸山廟太 よく難向けの出来ないことばかり でも云ふのカ。御光趣さまによく 林のスケッチ 遊 寒三作年後事時五分(東)モダン小唱 こそんたお 燃気 づて、まるもん 同六時(種)歴史物語 一元窓 大木淳大年间・服郡皮一作曲一、斉唱・組織の柱 ない金の質値があるだけに面目 二十日番組 放送 は、馬をそのまく。出された石墨を明にしていとも厳とに對し入玉の一。出された石墨を明にしていとも厳 同六時五五分(東)カレントトピー同六時五五分(東)カレントトピー 陸車名監務節長 至何格の騰落は直に農家の生活に 戦地百道起艦において、最近سりつた縦初の日―を上し、當時の漩 冠』それは丁度六百六十二年前の 苦であります、富地では毎年十 之が生産の増加と品質の敗落に努 源なるが故にその生産額の多寡乃 に對し經大なる安定力を供属する か在博多機に起った。大國龍三元 一十日一文水の役で説前博名を理 翌の風民經濟化に就て、七時三〇分(東) 蔣海 海連々 (イ) 舟の中で (ロー行列) 一、小組曲 ドビュッシー作曲 | 大阪放送交響楽團 就て(辞) ニユース・天氣見込・職 兀 遃

> 大連行 東 九 仁川九日 武垣浦10日 次日 國南祖元日 签山二日 安東—芝東—大連—翌日 別府るお灸もくすりるいられ 温泉氣分の心地 家庭にハップの温泉がある。 【必ず『エキホス』と御指名を希ふ「近時類似組悪品多數あり瞬入の際 包 数(100克 三瓦 發賣元 型 超越元 大阪温波町元 二巴合名會社 路 跨 義 商 店

熱師にして豪勇、父果断の英

三日 群山三首 水郁石 超山一盟門 一種具名港 日海津 日元山 日 作奏 大阪ラギオオーケ へ 満唱 八 阪 放送合唱園 新唱 八 阪 放送合唱園 一 家 文 子

作詞・江口夜時作曲 猫唱 心の するごと 大木惇夫

香 同七時三〇分 專味講演 香 安 康 意义 · 第二〇分 專味講演

ふ八幡屋の一脇 割つて兄の亡魂をなぐさめるとい 八幡屋の二階に上つて造手お飾を置き版に曾つて天理を知らさんと

同一時一五分婦人の時間 全急襲外

流く花びると共に、お染の流手は

同八時五五分 野談 抄 秋河同八時五五分 野談 抄 秋

角聚

廾一日き、物

○ 北鮮新潟(10回航 ・ 10回 ・

部品集社會名合在**建**文 Bits

A-7 @

ノーシン! 頭痛に

香込の品とな 落ちの容易さ キザに光らず 第小版 *1100 大 板 *七〇 小 版 * 七〇

正常品の国内生産、海軍工作戦と

盟の培養と技術指導の果狀脈に再済等の内容を解剖し、単に民間工

述べんとするものである。
豊か戦事防止の保険程たる所以・

大瀬の半五郎 很花節連夜三題(第一夜) 保上其質量が民間への還元に外な

開展を説明し、関連市軍だる関

經濟化に就て海軍費の國民

爲本

安女郎屋の八幡屋でも妻の大声も

城頭作用京菜堂

安蔵三年:月八日朝から降り

MP-1